

はしもと 橋本市



さつき



もくせい、さくら

HPアドレス <http://www.city.hashimoto.wakayama.jp/>



紀の川祭

市名の由来

橋本市の歴史は古く、高野^{かいどう}街道と伊勢^{いせ}（大和）^{やまと}街道の交差する交通の要衝として栄え、高野山参詣者の宿場町、地方物産の集積地となり発展してきました。

橋本の名の起こりは、1587（天正15）年、高野山中興の傑僧・応其上人が母なる川・紀ノ川に橋をかけ、高野詣の便を図り、そこで塩市を始めたことによるものと言われています。この橋はその後すぐ流出しましたが、橋本の地名はこのことに由来し、現在まで受け継がれています。

市章の由来

橋本の頭文字「ハシ」を図案化し、紀ノ川に浮かぶ舟を表現して、市勢の躍進発展を翼状に市民の和を円形に象徴しています。

市の紹介

橋本市は和歌山県の北東端に位置し、市内中央部を母なる川「紀ノ川」が悠然と流れ、緑豊かな山々に囲まれた人口約7万人の田園都市です。2006（平成18）年3月1日に橋本市と高野口町との合併により新「橋本市」が誕生しました。

現在は、本市の将来を指し示す羅針盤として「橋本市長期総合計画」を策定し、市民にとって「このまちに住んでよかった」、本市を訪れた方々にとって「このまちに住んでみたい」と思ってもらえるまちづくりを積極的に進めています。

★橋本市の特産品

- ・紀州へら竿 120年の伝統を受け継ぐへら竿は、全国シェア90%を占め、和歌山県伝統工芸品の第1号にも指定されています。紀伊清水界隈はへら竿の里と呼ばれ、毎年隠谷池で、全国へらブナ釣り選手権大会が開催されます。
- ・パイル織物 パイル織物とは、織物の基布に毛が織り込まれている特殊な有毛布地です。高野口町で栄え、その製品は高級毛布からインテリア用品等あらゆる分野にわたり、世界各国で広く愛用されています。
- ・カキ・ブドウ 味・品質とともに日本一の折紙つきの富有柿や果肉がギッシリとつまんだブドウが自慢です。
- ・柿の葉ずし 熊野灘で獲れたさばを使った押し寿司に、柿の葉の香りがうつり、風味が豊かな柿の葉ずしは、昔から人々に親しまれています。
- ・橋本の玉子 県内生産量の過半数を占める県下随一の産地です。高品質でも知られ、新鮮な玉子を生かしたお菓子屋さんも多くあります。



橋本市全景

★主な年間行事・見どころ等

高野口公園・丸山公園桜まつり（4月）、子安地藏寺藤の花（5月頃）、杉尾古代米田植えイベント（5月）、全国へらブナ釣り選手権大会（6月）、玉川峡・根古川・東谷川のホタル（6月頃）、恋し野の里あじさい園（6月頃）、住吉祭（7月）、嵯峨谷の神踊り（8月）、紀の川祭（8月）、紀の国やっちゃん祭り（9月）、紀の川かっぱまつり（9月）、生ゴミたい肥活用コスモス畑（10月）、各地方秋祭り・高野口歩行者天国（10月）、各種文化祭（11月）、橋本市民菊花展（11月）、学文路・高野口ルミナリエ（12月頃）、名古屋蛭子祭り（1月）、橋本マラソン（2月）、橋本市公民館祭り（3月）、